

2019 年 6 月 24 日の美德についての解説

サダーシャヤター

ガリマ・ボーワンカー

グルマリーが 2019 年 6 月 24 日のために与えた美德は、サダーシャヤターです。このとても滑らかな、ヒンディー語の美しい言葉は、繊細で不可解に思える意味を多く持ちます。それらの意味を、私たちは幾層にもわたって熟考する必要があります。

グルマリーが、6 月 24 日の彼女の誕生日を祝って与えようとしている美德はサダーシャヤターであると初めて私に話した時に、彼女は私に、「あなたがサダーシャヤターと聞いた時、すぐに思い付くこの言葉の意味は幾つぐらいありますか」と尋ねました。初めてこの言葉を聞いた時、私の心は動かされました。異なった意味を口にする前に、この言葉を体験したのだと感じました。それから、私は心に浮かんた、この美德が含む幾つかの性質をグルマリーに伝えました。

グルマリーは言いました。「とてもいいですね。あなたがサダーシャヤターについての解説を書いてください。皆がこの美德を自身で探究し、学ぶことができ、自分が理解したことから成果を得始めることができるように」

私たちの探究の最初のステップとして、サダーシャヤターの語源を見ていきましょう。ヒンディー語の語幹は、サダーシャヤであり、サットとアーシャヤという二つの言葉の組み合わせです。サットの意味は「真実」、アーシャヤの意味は「意図」です。ですから、サダーシャヤターは、真実で有益な意図を示しています。

サダーシャヤターに内在するニュアンスは、ほとんど翻訳不可能な極めて深い意味を与えます。英語にも、その他の言語にも、一つの単語でこの美德の完全な意味を表すのに十分な言葉はありません。サダーシャヤターは、高潔さを呼び起こします。それは、寛容、寛大、無私無欲という資質で満たされています。善良さ、優しさ、親切心で香り立っています。愛と慈悲で潤っています。サダーシャヤターは、皆の幸福のためにあるこれらの思いや行いの中に見いだされます。

では、もう少し詳しく、サダーシャヤターの中にある資質の幾つかを見ていきましょう。

例えば、高潔さは、尊敬に値する洗練されたマインドの特徴として定義されます。高潔な人は、気高い理想に従って振る舞います。彼らは、他の人々にとって有益な活動に従事します。

寛容は、広い心と親切心に関連することが多い資質です。何ら見返りを求めずに与えるよう人を促すのは、寛容の精神です。寛容を表す方法はたくさんあります。例えば、物や時間や技術を、他の誰かや何かに与えることによってです。しかしながら、そのように与えることを寛容と識別するのは、それらの行いが、個人的利益のためではなく、善をなすためだけに行われる時です。

サダーシャヤターの意味に寄与するもう一つの資質は、寛大です。「偉大な」という意味のラテン語のマグナスから派生した寛大は、大きな心、優しさ、そして慈悲を意味します。寛大であることは、たとえどのような状況であろうと、すべての人に優しく親切であるということです。対立の中であろうと、調和の中であろうと、敗北の中であろうと、勝利の中であろうと。

サダーシャヤターには、無私無欲の資質が染み込んでいます。私たちは、無私無欲を、利己的でないこととして考えるかもしれませんが——自己参照も自己関心もないということとして。しかし、サダーシャヤターが暗示する無私無欲は、そのような解釈を超えるものです。それは、自分自身の望みを叶えることより、他者やこの世界のニーズに対して、もっと気を配るということです。この精神をもって、個人の名声、評判、地位や富に対するどのような願望もなしに、行動するということです。こういった意味で無私無欲であるなら、あなたは、他の人々に快適さと幸福をもたらしたいという望みによって、純粹に動機付けられています。

自然はサダーシャヤターの衣をまとっています。生命そのものにとって必要不可欠な水を供給する河川。太陽の暑さをしのぐ涼しい日陰を与え、皆にその果実や花を無償で提供する豊かな木々、生物に呼吸する能力を与える大気。この壮大で大切な惑星である地球上の生命を維持するのが、自然のサダーシャヤターです。自然は、神のサダーシャヤターの反映なのです。

14 世紀のカシミールの詩聖、ラレーシュワリは、シヴァ神の偉大な信奉者でした。その神秘的な詩で、彼女は私たちに、シヴァ神があらゆるものの中に存在することを思い出させる美しいイメージを与えています。以下は、私が大好きなラレーシュワリの二つの詩節です。

植物は土から芽生え
オーム・ナマー・シヴァーヤで脈動する。
サードゥたちは聖なる川で沐浴(もくよく)し
ナマー・シヴァーヤをつぶやく。
母親たちは子どもたちの世話をし
オーム・ナマー・シヴァーヤをハミングする。
あらゆるものが
シヴァの名前を歌っている。

太陽の光は
区別をしない。
太陽の光はすべての家に等しく差し込む。
雲はあらゆるものに
公平に雨を降らせる。
すべてのその完全さで、
その至高なる原理は
公平にあらゆる所に存在する。¹

¹ *Lalleshwari*, rendered by Swami Muktananda, and translated into English by Gurumayi Chidvilasananda with Swami Kripananda (South Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1981; © Gurudev Siddha Peeth, Ganeshpuri, India), verse 20, p. 10; and verse 43, p. 22.

あなたの心の中で神の光が輝いている時、あなたは、あなたの周りのあらゆるものの中に神の存在を見るでしょう。全世界を神の創造物として見るでしょう。そして、この気づきを持って生きる時、あなたの愛は自然に、自由に、すべての創造物を包むように流れるでしょう。あなたは、あらゆるものがこの世界で力強く、豊かになることを望むでしょう。あなたのマインドは、こうして、より高い目的とつながるのです。これがサダーシャヤターです。

この美德の実践には容易さがあることを理解してください。サダーシャヤターという美德を明らかにするために、力を発揮する必要はありません。代わりに、あなたは自身の気づきを洗練させ、その気づきを、あなただけではなく、この世界のあらゆる存在が、神の愛で、神聖な神とのダルシャンで、満たされているという知識と一致させるのです。この気づきは、あなたが自分自身から抜け出て、宇宙とつながるのを助けます。サダーシャヤターは——あなた自身と、他の人々と、そして世界と共に——存在する方法なのです。

確言

私はサダーシャヤターと共に進みます。

